

Mumps Vaccine Safety Database への入力について

ご協力いただいた被接種者の情報は、以下の手順に従い入力してください。

1 調査用Webサイトにログインする

- ① 調査用Webサイトにアクセスする
サイト名「Mumps Vaccine Safety Database 副反応報告集計」



Mumps 集計 検索 <https://mumps.children.jp>

- ② 画面右上「ログイン/新規調査協力医師」をクリックし、ログイン画面へ移動する

調査協力医へ登録済の場合

メールアドレス、パスワードを入力してログインしてください。



すでにパスワードをお持ちの方はこちらからログイン

調査協力医メールアドレス

パスワード

ログイン

Ver.1.2.12

パスワードを忘れた方

この調査に協力していただける医師は、まず連絡のために使うメールアドレスを入力して下さい。
調査協力医を登録するページのURLをお伝えします。

◎メールアドレス:

調査協力医へ未登録の場合

メールアドレスを入力し、調査協力医の登録手続きをお願いします。

2 マイページ上部から二次元コード印刷画面へ移動する

Mumps vaccine Safety Database Ver.1.2.12

マイページ

ようこそ、多屋肇子 (kataya@nih.go.jp) 様

■ マイページ ■

ログイン医師名: 多屋肇子 (kataya@nih.go.jp) プロフィール修正 **QRコード印刷** 質問とお答え(FAQ) ダウンロード

所属: 神奈川県衛生研究所

■ 新規接種例登録 - 【電話法】で接種後4・8週間の副反応を調査協力医自身が報告する場合はこちらで登録を開始して下さい。【QRコード法】で保護者のQRコード読み取りにて無症状報告を受ける場合は、まず上の「QRコード印刷」をクリックしてあらかじめQRコード用紙を印刷。そして接種後に保護者に左半分を渡し、新規接種例登録をして下さい。

●接種例の一括インポートはこちら

期間選択

接種した期間を選んで下さい。その期間におおむねおぼつかないワクチン接種した親を表示します。

3 二次元コード報告用紙を印刷し、保護者へ渡す

Mumps vaccine Safety Database Ver.1.2.12

■ QRコード印刷 ■

感染研 多屋

QRコード報告用紙の利用について

保護者から副反応は無かったことを、簡単に報告してもらえ手順を準備しました。報告日(接種4,8週後)に保護者が用紙のQRコードをスマートフォンで読み取ってもらえば、副反応はなかった事がデータベースに報告されます。

QRコード報告用紙には、印刷時にデータベースが未使用のIDを作り出して、毎回すべての用紙に唯一無二のIDがそれぞれ印刷されています。一人の被接種者につき一つの用紙をお使い下さい。

【利用の重要ポイント】

- 被接種者ID用紙が足りなくなれば、毎回マイページから、必要枚数を選びダウンロードして下さい。
- 例えば10人分が必要なら、10枚を選びダウンロードして下さい。
- 印刷枚数は毎回必ず「1枚」にしてください。

【注意！】以下の利用・操作は決して行わないようにして下さい。

- × 用紙が足りなくなったので、過去にダウンロードしたPDFを、再度印刷して使う。
- × 既に印刷してある用紙をコピーして使う。
- × 印刷枚数を「2枚」以上にすると、印刷枚数は必ず「1枚」にしてください。

印刷したいQRコードの枚数を指定して、「印刷実行」ボタンをクリック。クリック後PDFが開きますので、「印刷」印刷枚数は枚で印刷して行ってください。印刷枚数が多ければPDFが表示されるまで少し時間がかかります。

印刷枚数 10枚

報告用紙見本

実際の報告用紙の画像

保護者用控え

医師が記入

注意

IDが重複するため、報告用紙の印刷は必ず被接種者一人あたり1部とし、コピー機などで複製しないでください。

4 マイページから新規接種例を登録する

5 画面上部「新規接種例登録」をクリック

6 接種時に記入した「被接種者登録カード」の内容を入力する

保護者に渡した報告用紙に印刷されている被接種者IDを入力してください

被接種者ID

接種時年齢 1歳 0か月

性別 男 女

※1期相当の年齢で初めて接種されても「1回目」を選んでください。

1回目 2回目 3回目以上

入力が完了したらクリック

確認ページへ進む

電話/対面で副反応の有無を確認する場合

二次元コードを利用せず、電話や来院時に副反応を確認する場合は、「新規作成」ボタンをクリックして被接種者に割り振るIDを発行してください。